

## 第3期教育大綱・第4期教育振興基本計画に掲げる取組を進めた 学校のイメージ



ある中学生  
Aさんの視点

P. 3



ある小学校教員  
Bさんの視点

P. 7



ある高等学校長  
Cさんの視点

P. 12

第3期教育大綱・第4期教育振興基本計画のもと、  
令和6年度から令和9年度まで取組を進めることで  
広げていきたい学校の様子のイメージを  
生徒、教員、校長の視点で  
一部例をご紹介します。



# 01 | ある中学生Aさんの視点



## 朝の登校

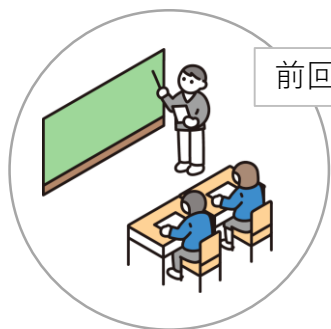


きょうの きぶんを えらんでください。【かならずえらぶ】 \*

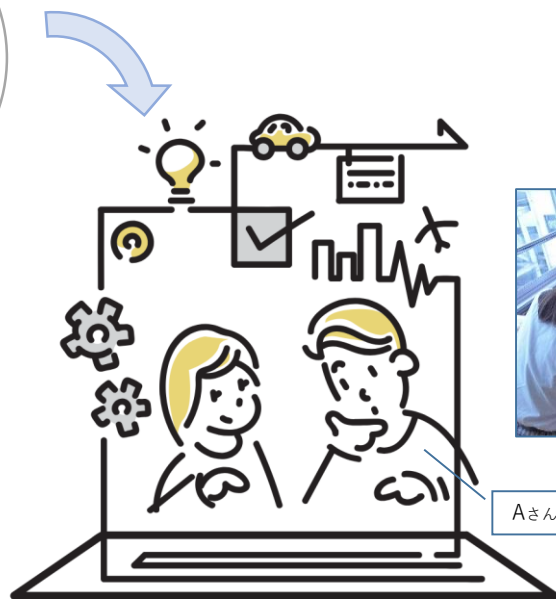
|                                                                                                                          |                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br><input type="radio"/> 😊うれしい。たのしい。 | <br><input type="radio"/> 😞ふつ。            |
| <br><input type="radio"/> 😓つらい。かなしい。  | <br><input type="radio"/> 🤬いらいらする。おこっている。 |

朝、登校時に、1人1台タブレット端末で、その日の気持ちや体調の状況を入力。  
(詳細は「ある小学校教員Bさんの視点」参照)

# 授業①



前回の授業



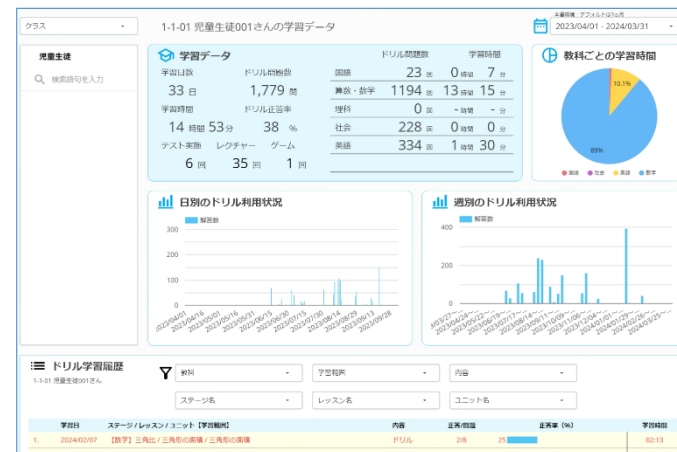
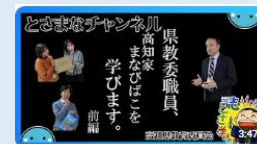
Aさん

一斉授業型で受けた前回の授業の内容を踏まえて、提示された課題について考えを端末でまとめる。

まとめている過程は常にクラウドで、クラス内に共有されているので、他者の意見等を参照したり、時に協力したりしながら、考えをまとめていく。



★関連動画  
「【学んでみた】  
高知家まなびばこって  
なんだろう。」



※イメージ



Aさん

デジタルドリルの小テストを解く。

結果等は「高知家まなびばこ」にスタディログとして集積され、自らの振り返りにあてることができる。

(教師側の視点は「ある小学校教員  
Bさんの視点」参照)

## 授業②



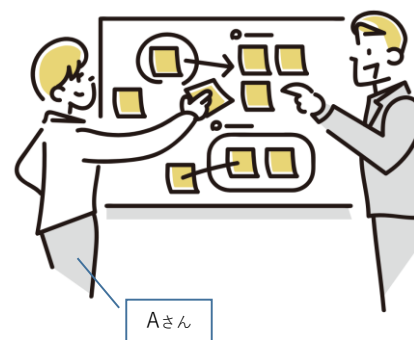
☆高知県の  
特別支援教育  
リーフレット



近接する特別支援学校との  
交流及び共同学習の実施に向けて  
クラス内で話し合い。

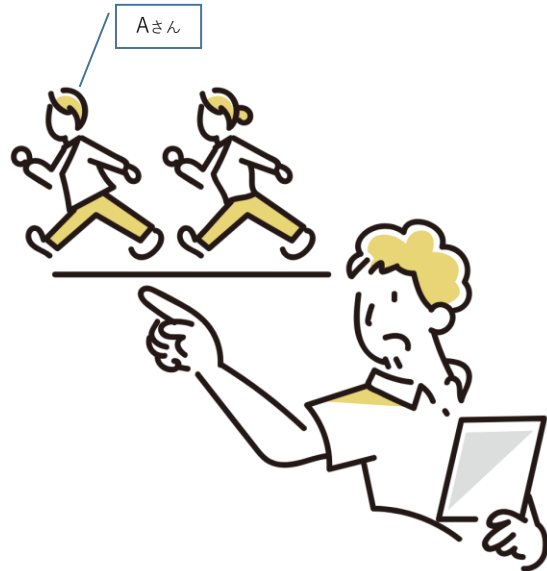


☆関連動画  
「きらっといきいき  
あったかい  
『高知家』の教育」



総合的な学習の時間に、  
地域の課題解決に向けた取組について、  
地域にも協力をいただきながら  
まとめた成果を発表。

## 放課後



部活動指導員（地域や外部の方）の指導や、  
近接する高等学校との合同練習、  
拠点校部活動での指導等を受ける。



その日に実施した授業を  
1人1台タブレット端末で復習。  
（授業と授業外学習のシームレス化）  
「高知家まなびばこ」の授業動画や  
「高知これ単」（単語帳）等を活用。



## 02 | ある小学校教員 B さんの視点



### 兆しの早期の把握・支援



Bさん



スクールカウンセラー



朝の授業前に担任のクラスの児童が入力した「きもちメーター」の状況をチェック。  
 心配な入力や書き込みをしている児童については、  
 「声かけ」の準備と、管理職、養護教諭、  
 スクールカウンセラー等の相談支援体制につなぐことを確認。

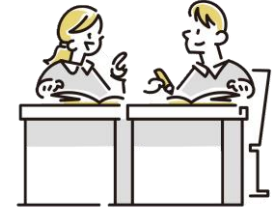
# 授業



☆関連動画  
「おじた！少年かつお  
と学ぶ『高知家』の教育  
～デジタル化～」



Bさん



例えば「体育」の授業。

授業の流れをクラウド上で児童に共有し、  
授業の冒頭にポイントを伝えた後は  
児童が主体となり進める。

児童がお互いの動きをタブレットで撮影し合い、  
動画をもとに、課題の把握や動きの確認、助言する  
様子を教員は確認しながら、  
個別にアドバイスや評価等を行う。

例えば「社会」の授業。

事前に持ち帰ったタブレットで、  
地域の文化や産業について調べ、情報を整理。  
そこから見出された課題をクラスで共有。

教員は、授業の冒頭に、  
インターネットや図書館等での情報の調べ方を教え、  
それぞれの児童が自分たちに合った調べ方等で  
課題の解決方法を検討。

検討状況は随時クラウドで可視化されて共有し、  
教員はそれをもとに適切なタイミングで助言。



# 学習指導

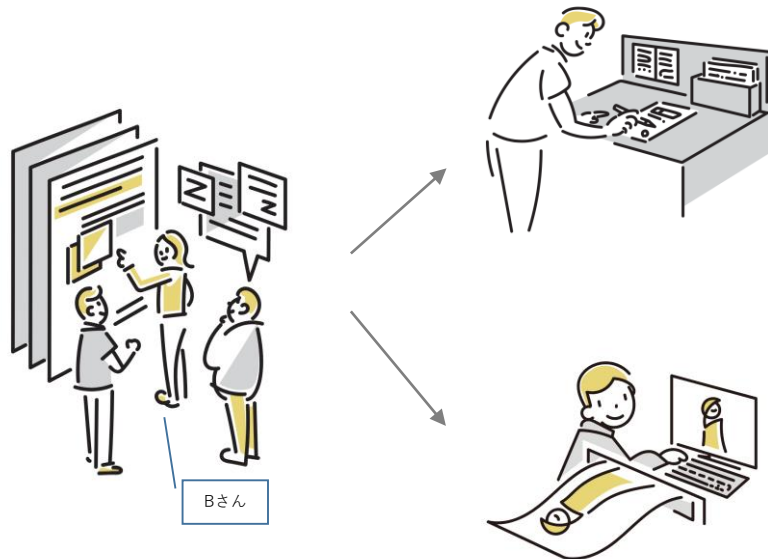


デジタルドリルの取組状況、配付した課題の到達度などをスタディログダッシュボードで確認。  
 児童の学習の進捗状況等を把握し、それに応じた適切な指導につなげていく。  
 (児童・生徒側の視点は「ある中学生Aさんの視点」参照)

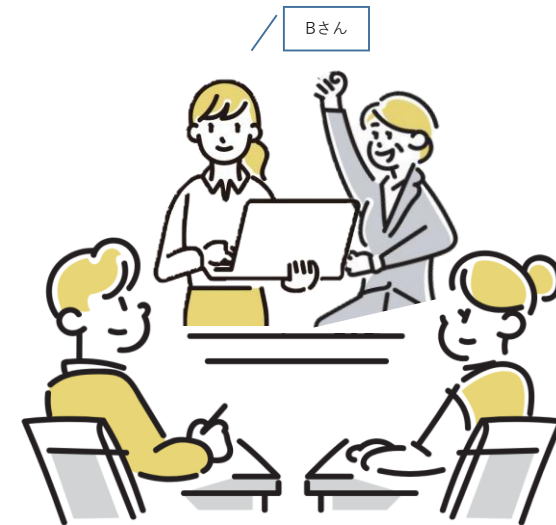
## 教員への支援



☆関連ホームページ  
「学校におけるワーク  
ライフバランスを確保  
した働き方改革の推進」



教員の業務を支援する教員業務支援員に、  
プリント・資料の作成やコピー、採点の補助、  
行事の準備の補助、休み時間の見守りなど、  
様々な業務の支援をしてもらう。

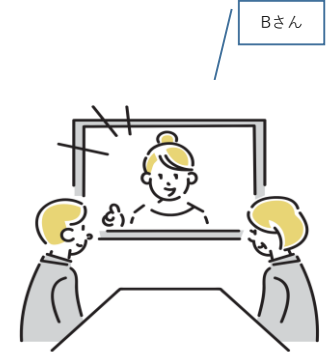


小学校の新規卒業の教員に対しては、  
その負担の軽減のため、  
①学級担任をしないか／  
②学級担任をする場合は  
サポート教員を配置して、  
授業準備や授業実施等を支援してもらう。

## 学級運営等



「理科」「音楽」「体育」は  
教科担任制を導入し、  
より質の高い授業や多面的な児童理解を促進。  
また、別の教員が授業を実施している間、  
自身は、その他の授業準備や授業研究等の  
時間にあてることができる。

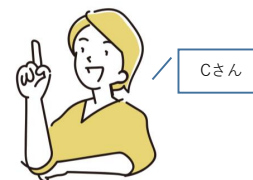


☆保幼小架け橋  
プログラム  
県幼保支援課  
ホームページ

校区の幼稚園・保育所等と、子どもの姿を元に  
教育内容を話し合い、5歳児から小学校1年生までの  
カリキュラムづくりや検証を実施。

校区の幼稚園・保育所等の教員・保育者が、  
お互いの授業・取組に参加・勉強会を実施し、  
互いの教育内容を活かして  
教育・保育の質の向上に取り組む。

## 03 | ある高等学校長Cさんの視点



### 学校運営①



職員会議の場等で、  
学校のスクール・ミッション、スクール・ポリシー、  
学校経営計画等について  
組織的に共有、振り返り。

学校の経営ビジョンを全教職員と共有。



前日の各教員の勤務時間をシステムで確認し、  
勤務状況等を確認。

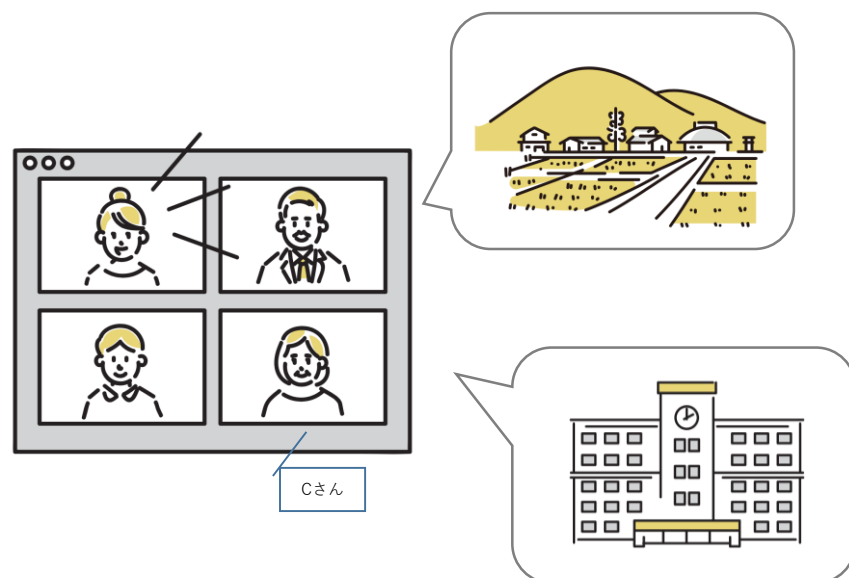
必要に応じて、教員に声掛けをしたり、  
業務の整理を検討したりする。

また、朝礼の回数を減らし、  
必要な事務連絡はスプレッドシートや、  
校務支援システム等により随時全教職員に共有。

## 学校運営②



☆関連動画  
「こうち留学  
『おもいっきり  
自分らしく』」



入学希望者数の増加に向けて、  
県内の地元中学校や  
県外の中学校の生徒・保護者に対して、  
学校の魅力や充実した教育機会を発信・PR。  
県外から高知県の高等学校に入学して学ぶ  
「こうち留学」の取組による  
生徒募集も実施。



定期的に学校運営協議会を開催。  
「風通しのよい職場づくり」の学校運営体制や、  
社会と根ざしたカリキュラムづくりなどについて  
学校外や地域の視点等、  
さまざまな視点からの熟議を実施。

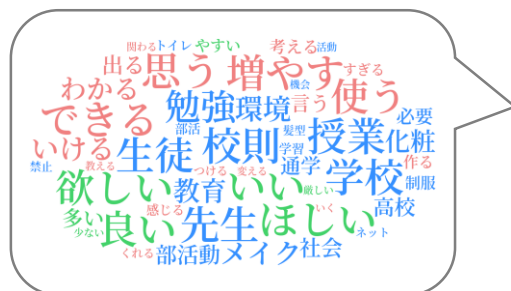
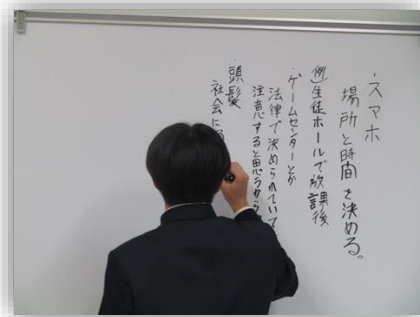


## 学校運営③



### ☆関連動画

「【「理想の学校の姿」を発表します！】  
県内の高等学校・特別支援学校に通う生徒  
が参加する『次世代総合教育会議』を開催  
しました」



※ユーザーローカル テキストマイニングツール  
( <https://textmining.userlocal.jp/> ) による分析



放課後、学校の校則について、  
生徒から集めた様々な意見の結果を  
生徒会から発信。

どのような形で校則を見直すべきかを  
教職員と生徒会とで意見交換。

# 授業



地域の状況に応じて、  
教育機会に差が生じないよう、  
中山間の小規模高校等の  
大学進学や資格取得等のニーズがある  
生徒に対して、  
配信センターから遠隔教育（遠隔授業等）を実施。



☆関連動画  
「【学んでみた】  
遠隔教育ってなんだろう。」



☆関連動画  
「課長が行く！  
（県立大方高等学校）  
～総合的な探究の時間の  
取組をご紹介します～」



課題を生徒自ら見出し、探究する  
「総合的な探究の時間」の実施。  
実施にあたっては、地元自治体や大学、  
企業等とも連携。  
引き続き、自ら設定したテーマを深掘りし、  
進学や就職等につなげたい場合には、  
進路指導面で学校がサポート。